

広島市立北部医療センター安佐市民病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

研究課題名	安佐市民病院脳卒中ベース登録研究（ASA STROKE Registry）
研究責任者 (所属科名)	山下 拓史（脳神経内科 主任部長） 松重 俊憲（脳神経外科・脳血管内治療科 主任部長）
本研究の目的・意義	脳血管障害（脳梗塞、一過性脳虚血発作、脳出血など）は、わが国における重要な健康課題であり、急性期診療から再発予防、慢性期支援に至るまで切れ目のない医療体制が求められています。本研究では、広島市立北部医療センター安佐市民病院に入院された脳卒中患者さんの診療内容や経過、治療成績、機能予後などを継続的に集積・解析することで、当院における脳卒中診療の実態を正確に把握し、診療の質の維持・向上、地域における脳卒中医療への貢献、さらに今後の臨床研究の基盤整備に資することを目的としています。
調査方法・研究期間	【調査方法】通常診療の過程で得られた診療情報（診療録、画像・検査記録、看護記録等）を、後方視的に収集・登録し、院内のデータベースに蓄積します。研究のために新たな検査や治療を追加で行うことはなく、患者さんに新たなご負担をおかけすることはありません。慢性期予後（90日後・1年後等）の情報は、原則として外来診療録に基づき把握します。 【対象期間】2021年1月1日以降に当院へ入院された患者さん 【研究期間】倫理委員会承認後（2026年6月予定）～2031年12月31日 【目標症例数】6000例
該当資料・データ	・患者基本情報（年齢、性別、入退院日、入院経路、転帰等） ・発症・来院情報（発症日時、来院時血圧、NIHSS、GCS、発症前mRS等） ・既往歴・危険因子（高血圧、糖尿病、脂質異常症、心房細動、喫煙歴、飲酒歴等） ・血液検査、心電図、心エコー、頸動脈エコー等の検査結果 ・頭部CT・MRI・MRA・CTA等の画像所見 ・急性期治療内容（rt-PA静注療法、血管内治療、外科的治療、再発予防治療等） ・入院中経過・退院時情報、退院後の機能予後（90日後mRS、1年後mRS等）
個人情報の取り扱い	収集した情報は、研究責任者および許可された研究関係者のみが、院内のセキュリティ管理された専用領域で厳重に管理します。研究目的でデータを利用する際には、氏名・患者ID等の直接識別子を取り除き、症例番号等に置き換えて個人が特定されない状態にしたうえで解析を行います。症例番号等は解析用データと分離して厳重に管理し、不要となった場合は速やかに廃棄します。研究成果を学会発表・論文等で公表する際にも、個人が特定される情報は一切公表しません。

共同研究機関	本研究は広島市立北部医療センター安佐市民病院における単施設研究です。現時点では他機関との共同研究は予定していませんが、将来的に倫理委員会の承認を経た上で、国内の多施設共同研究や国家的な脳卒中登録システム等への参画のため、個人が特定できない形に処理したデータを他機関へ提供する可能性があります。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究の実施に必要な経費は、研究責任者が所属する診療科の研究費または院内の研究関連予算等から支出します。本研究は特定の企業から資金提供、物品提供、役務提供等を受けて実施するものではなく、研究の計画立案、実施、解析、公表において利益相反となりうる関係はありません。
お問い合わせ先	広島市立北部医療センター安佐市民病院 脳神経内科 研究責任者：山下 拓史（脳神経内科 主任部長） 住 所：〒731-0293 広島県広島市安佐北区可部南 2-1-1 電 話：082-815-5211（代表） 受付時間：平日（土・日・祝日、年末年始を除く）8:30～17:00 上記までご連絡いただいた場合、本研究への情報利用を停止いたします。お申し出により診療上の不利益を受けることは一切ありません。
備考	本研究は、ヘルシンキ宣言および「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に従い、広島市立北部医療センター安佐市民病院倫理委員会の審査および病院長の承認を受けて実施しています。 ※すでに匿名化された情報のうち、解析が進行している情報については、技術的に取り消すことができない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

作成日：2026 年 6 月 15 日 ／ 版数：第 1.0 版
広島市立北部医療センター安佐市民病院 倫理委員会承認後に掲示